

MG10  
GOLD

MG15FX  
GOLD

MG30FX  
GOLD

MG50FX  
GOLD



**OWNER'S MANUAL**

*Marshall*

## はじめに

---

Marshall MG Goldをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

MG Goldはモダンなマーシャルトーンを手軽に楽しめるアンプです。

MG Goldでは煌くようなクリーンから重厚なブルーストーン、伝統的なロックサウンド、ヘヴィなメタルサウンドまで様々なタイプのサウンドに簡単にアクセスでき、自在にコントロールできるよう細心の注意を払って設計されています。

自宅練習でもライブパフォーマンスでも、MG Goldはルックス以外の面においても、きっとご満足いただけることでしょう。

皆さんがMG Goldを楽しんでいただけることを心から祈っています。

- Marshall チーム一同

## 警告！ 安全上のご注意を必ずお読みください。

---

### 警告:

電源は必ず交流100Vを使用してください。商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

### 電源入力とヒューズ:

アンプの定格入力電圧はリアパネルに記載されています。

付属の電源コードをアンプ裏面のMAINS INPUTに接続してください。ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

**絶対に**定格以外のヒューズを使用しないでください。

### アンプを運ぶ際の注意点:

機器の電源を切った上、全ての接続ケーブルを外し移動/運搬を行ってください。

### 電源を入れる前に:

### 警告:

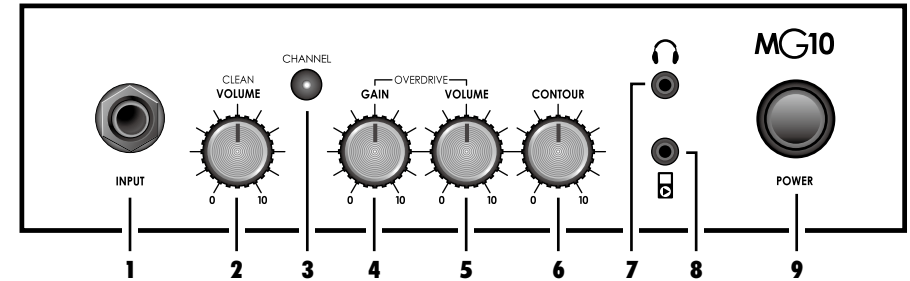
正しく接続を行わないとアンプ及び、他機器の破損の原因になります。

スピーカーキャビネットの接続には専用のケーブルをご使用ください。

スピーカーの接続にギター用のシールドケーブルは絶対に使わないでください。

1. POWERスイッチがOFFになっていることを確認してください。
2. 付属の電源コードをリアパネルにあるMAINS INPUTに接続してから、アース線を接続し、電源コンセント (AC100V) に接続してください。
3. フロントにあるコントロール (つまみ) がすべてゼロになっていることを確認してください。
4. ギターをフロントパネルのINPUTに接続してください。
5. フロントパネルのPOWERスイッチをONにしてください。
6. 音量をお好みの状態まで上げれば演奏が可能な状態になります。

## MG10 フロントパネルの機能



ご使用前にこの取扱説明書を良くお読みください。  
全ての注意書きに従い、警告を守ってください。  
この取扱説明書は保存してください。

### 1. INPUT

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

### 2. VOLUME - CLEAN CHANNEL

クリーンチャンネルの音量を調整します。

### 3. CHANNEL SWITCH

アンプに内蔵された2つのチャンネル(クリーン/オーバードライブ)を切り替えます。LEDが緑色のときはクリーン/赤色のときはオーバードライブチャンネルが選択されています。

### 4. GAIN

プリアンプ部の入力ゲインを調整します。設定を上げるほどディストーションが得られます。

### 5. VOLUME - OVERDRIVE CHANNEL

オーバードライブチャンネルの音量を調整するつまみです。音量を上げるほど開放的なサウンドとフィーリングが得られます。

### 6. CONTOUR

中音域(サウンドの厚み)のニュアンスを調整します。

### 7. HEADPHONE OUT

3.5mmジャックのヘッドホンを接続します。この端子に接続時はスピーカーから音は出ません。

### 8. MP3 IN

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバックトラックと合わせて演奏できます。

### 9. POWER

アンプの電源ON/OFFスイッチです。アンプの電源が入るとチャンネルスイッチLEDが点灯します。

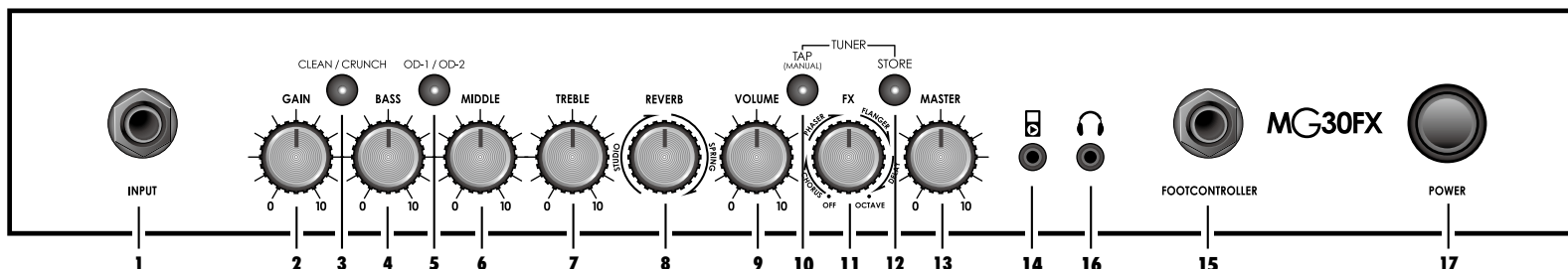
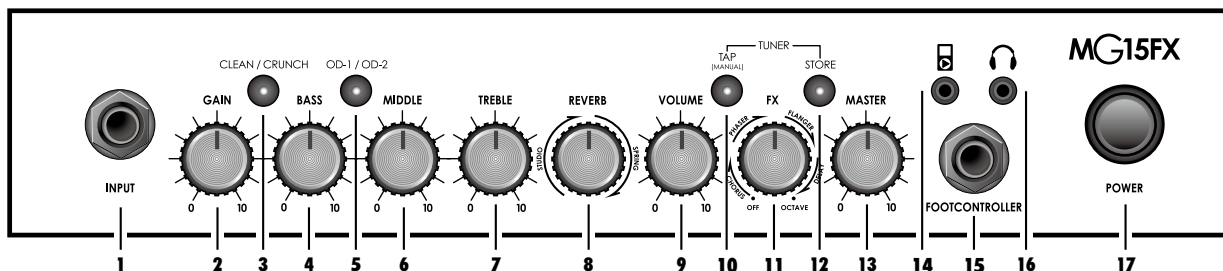
**注意:**アンプの定格電圧はリアパネルに記載されています。

電源は必ず交流100Vを使用してください。

商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

**警告:**移動/運搬はアンプの電源を切った上、電源ケーブルや接続ケーブルをコンセントから外してから行ってください。

# MG15FX および MG30FX フロントパネルの機能



## 1. INPUT JACK SOCKET

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

## 2. GAIN CONTROL

プリアンプ部の入力ゲインを調整します。選択したチャンネルに応じたディストーションが得られます。

## 3. CLEAN/CRUNCH SWITCH

クリーン (緑色点灯) とクラunch (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 4. BASS CONTROL

低音域の出力を調節し、サウンドに深みと温かみを加えます。

## 5. OD-1/OD-2 SWITCH

OD-1: (緑色点灯) とOD-2: (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 6. MIDDLE CONTROL

中音域の出力を調節し、サウンドの厚みを調整します。

## 7. TREBLE CONTROL

高音域の出力を調節し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。

## 8. REVERB CONTROL

タイプの異なるSTUDIO/SPRING2種類のリバーブから選べるデジタルリバーブです。STUDIOはスタジオ風プレートリバーブを再現したサウンドで、SPRINGは伝統的なスプリングリバーブを再現したサウンドです。

## 9. VOLUME CONTROL

選択したチャンネルの音量を調節します。

## 10. TAP (MANUAL) SWITCH

2回連続して押すことでディレイの長さを調整できます。1回目と2回目の間隔で長さが調整されます。その際LEDが設定されたディレイの長さにあわせて点滅します。TAPスイッチを2秒以上長押しすると、マニュアルモードとプリセットモードの切り替えができます。

## 11. FX CONTROL

コーラス、フェイザー、フランジャー、ディレイ、オクターブの5種類のデジタルエフェクトを選択、調整します。

## 12. STORE SWITCH

アンプのセッティングをチャンネルに保存します。マニュアルモード時はSTOREボタンが赤色に点灯しています。

## 13. MASTER CONTROL

アンプの最終的な音量を調節します。

## 14. MP3 LINE IN SOCKET

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバックingtトラックと合わせて演奏できます。

## 15. FOOTCONTROLLER SOCKET

別売りのフットスイッチを接続します。

## 16. HEADPHONE SOCKET

3.5mmジャックのヘッドホンに接続します。この端子に接続時はスピーカーから音は出ません。

## 17. POWER SWITCH

アンプの電源ON/OFFスイッチです。アンプの電源が入るとチャンネルスイッチLEDが点灯します。

**NOTE:** アンプの定格入力電圧はリアパネルに記載されています。  
電源は必ず交流100Vを使用してください。  
商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

# MG15FX および MG30FX の概要

## チャンネル選択

アンプには、4つのチャンネル(クリーン、クランチ、OD-1、OD-2)があります。

Clean/Crunchスイッチ(3)を押すとクリーン(緑色点灯)とクランチ(赤色点灯)チャンネル間の切り替えができます。

OD-1/OD-2 スwitch (5) を押すと、OD-1(緑色点灯) および OD-2(赤色点灯) チャンネル間の切り替えができます。

OD チャンネルからClean/Crunchチャンネルに切り替えるとき、切り替える直前の最後のチャンネルを記憶します。例えば、クランチチャンネルから OD チャンネルに切り替え、Clean/Crunchスイッチ(3)を押すと、アンプは、クリーンチャンネルで再び始動するのではなく、クランチチャンネルに戻ります。

## モード

アンプは、プリセットとマニュアルの2つのモードで動作します。

モードの切り替えは、Tapスイッチ(10)を2秒以上長押しして下さい。マニュアルモード時には、Storeスイッチ(12)が赤色に点灯し、選択されているチャンネルのLED(3または5)が点滅します。

電源を落とした後も最後に使ったモードが記録され、次に電源を入れる際にも自動的に同じモードを呼び出します。

## プリセット

工場出荷時はこのモードに設定されています。

プリセットモードにはマスターボリューム(13)以外の全てのセッティングが各チャンネルに保存されています。チャンネルを選ぶことで自動的にチャンネル内に保存されている設定になります。

**Note:** チャンネル選択時、切り替え時はデフォルト設定なので、マスター音量(13)以外のツマミのレベルは音に反映されていない状態です。

ツマミを回すと、回したツマミのパラメーターにあわせ音が変わります。

ツマミの設定が変更されると、選択されたチャンネルライト(3または5)が点滅して、現在のプリセットが変更されたことを示します。

変更した設定を保存するには、Storeスイッチ(12)を押します。

Storeスイッチ(12)を押さずに別のチャンネルを選択すると、新しいチャンネルとその設定が呼び出され、変更した設定が失われます。

## マニュアル

マニュアルモードでは、アンプは常にツマミの位置どおりに動作します。

マニュアルモード時にチャンネルを変更しても、プリセットは呼び出されません。

Storeスイッチ(12)を押すことにより選んだチャンネルにその設定を保存することができ、プリセットモード時に呼び出すことができます。

セッティングが保存されると、現在のチャンネルライト(3または5)の点滅が止まり、プリセットが保存されたことを示します。

## リバーブおよびFX

このアンプでは、Reverb (Studio またはSpring) と5つのFX (Chorus、Phaser、Flanger、DelayまたはOctave) の2つのデジタル効果を同時に楽しめます。

## リバーブ

Reverb (8) は、2つのリバーブタイプ (Studio またはSpring) のいずれかに送られるリバーブのレベルを調整します。Reverb (8) が0に設定されている場合、リバーブはオフになり、別売りの4wayスイッチフットコントローラー上でも確認できます。

## FX

FX コントロールは基本的に5つのセグメントに分割されています。簡単に設定をできるオクターブの場合を除いて、FXのタイプを選択して関連する設定を調整します。FX コントロールが「0」に設定されている場合、FXはオフになり、別売りの4wayスイッチフットコントローラー上でも確認できます。

0	FX オフ
コーラス	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、Depthが減少します。
フェイザー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加します。
フランジャー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、Feedback、Depthが減少します。
ディレイ	ノブを時計回りに回すと、Delay Levelが上がります。
オクターブ	FX コントロールを完全に時計回りに回すと、Octave効果が効き、1オクターブ低い音が同時に鳴ります。

## 電源

アンプの電源ON/OFFスイッチです。アンプの電源が入るとチャンネルスイッチLEDが点灯します。現在の設定が保存されていない場合、それらは失われます。

## 設定のリセット

**警告: アンプおよびフットコントローラーの設定がすべて消去されます。**

アンプを工場出荷時の設定にリセットするには、Storeスイッチ(12)を押しながらアンプの電源を入れてください。Clean/Crunch (3) およびOD (5) のライトがオレンジ色に点灯するのを確認してからStoreスイッチ(12)を放してください。アンプをリセットすると、ユーザー・チャンネル・プリセットとユーザー・フットコントローラー設定がすべて消去され、工場出荷時の設定にリセットします。

## タップテンポ

Tapスイッチ(10)は、ディレイのみに使用します。

2回連続して押すことでディレイの長さを調整できます。1回目と2回目の間隔で長さが調整されます。その際LEDが設定されたディレイの長さにあわせて点滅します。

ディレイタイムが減少するにつれて、反復回数が減少します。

ディレイのあるチャンネルからディレイのないチャンネルに変更した場合、元チャンネルのディレイ音が残ります。

ディレイのあるチャンネルから異なるディレイタイムに設定したチャンネルに変更した場合は、元チャンネルのディレイ音は残りません。

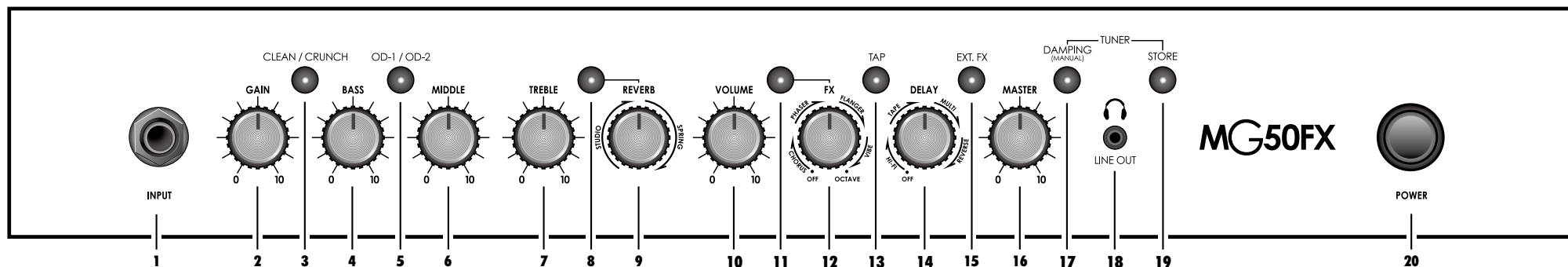
## MP3/ライン入力

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバックギットトラックと合わせて演奏できます。

## ヘッドフォン

3.5mmジャックのヘッドホンに接続します。この端子に接続時はスピーカーから音は出ません。この端子はライン出力としても使用できます。

# 50FX フロントパネルの機能



## 1. INPUT JACK SOCKET

ギター用ケーブルを使用して楽器を接続します。

## 2. GAIN CONTROL

プリアンプ部の入力ゲインを調整します。選択したチャンネルに応じたディストーションが得られます。

## 3. CLEAN/CRUNCH SWITCH

クリーン (緑色点灯) とクランチ (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 4. BASS CONTROL

低音域の出力を調節し、サウンドに深みと温かみを加えます。

## 5. OD-1/OD-2 SWITCH

OD-1 (緑色点灯) とOD-2 (赤色点灯) のチャンネルを切り替えます。

## 6. MIDDLE CONTROL

中音域の出力を調節し、サウンドの厚みを調整します。

## 7. TREBLE CONTROL

高音域の出力を調節し、サウンドに明るさと切れ味を加えます。

## 8. REV SWITCH

リバーブをON/OFFします。

## 9. REVERB CONTROL

タイプの異なるSTUDIO/SPRING2種類のリバーブから選べるデジタルリバーブです。STUDIOはスタジオ風プレートリバーブを再現したサウンドで、Springは伝統的なスプリングリバーブを再現したサウンドです。

## 10. VOLUME CONTROL

選択したチャンネルの音量を調節します。

## 11. FX SWITCH

エフェクトセクション (FXとディレイ) をON/OFFします。

## 12. FX CONTROL

コーラス、フェイザー、フランジャー、ヴァイブ、オクターヴの5種類のデジタルエフェクトを選択、調整します。

## 13. TAP SWITCH

2回連続して押すことでディレイの長さを調整できます。1回目と2回目の間隔で長さが調整されます。その際LEDが設定されたディレイの長さにあわせて点滅します。

## 14. DELAY CONTROL

4種類のディレイ (ハイファイ、テープ、マルチ、リバース) の中からタイプとレベルを選択、調整します。

## 15. EXT. FX SWITCH

エフェクトループをON/OFFします。

## 16. MASTER CONTROL

アンプの最終的な音量を調節します。

## 17. DAMPING (MANUAL) SWITCH

パワーアンプのキャラクターをクラシックアンプ風 (LED消灯) とモダンレスポンス (LED点灯) 間で切り替えます。このスイッチを2秒以上長押しするとマニュアルモード/プリセットモードを切り替えます。フットコントローラーPEDL-90008 (別売り) を使用中にDAMPINGスイッチとSTOREスイッチを同時に長押しすると、チューナーモードになります。

## 18. HEADPHONE / LINE OUT SOCKET

3.5mmジャックのヘッドホン接続します。この端子に接続時はスピーカーから音は出ません。この端子はライン出力としても使用できます。

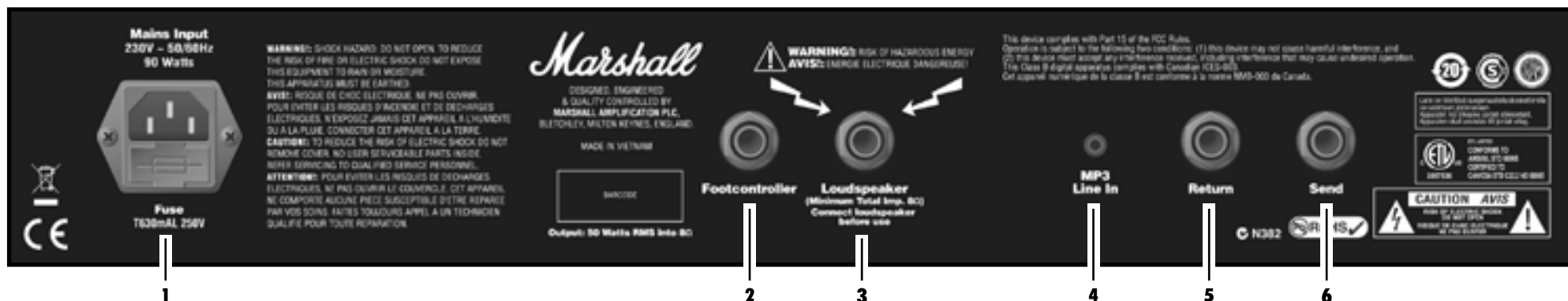
## 19. STORE SWITCH

アンプのセッティングをチャンネルに保存します。マニュアルモード時はSTOREボタンが赤色に点灯しています。

## 20. POWER SWITCH

アンプの電源ON/OFFスイッチです。アンプの電源が入るとチャンネルスイッチLEDが点灯します。

# MG50FX リアパネルの機能



## 1. MAINS INPUT CONNECTOR

付属の電源コードを接続します。

電源は必ず交流100Vを使用してください。  
商品に対するご相談はご購入店にご相談下さい。

ヒューズの定格はリアパネルに記載されています。

**絶対に**定格以外のヒューズを使用しないでください。

## 2. FOOTCONTROLLER SOCKET

フットスイッチを接続します。

## 3. LOUDSPEAKER OUTPUT SOCKET

外部スピーカーキャビネットとの接続には、必ず専用のケーブルをご使用ください。

## 4. MP3 LINE IN SOCKET

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバックিংトラックと合わせて演奏できます。

## 5. RETURN SOCKET

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのアウトプットに接続します。

## 6. SEND SOCKET

エフェクトループを使う場合、外部エフェクターのインプットに接続します。

# MG50FX の概要

## チャンネル選択

アンプには、4 つのチャンネル (クリーン、クランチ、OD-1、OD-2) があります。

Clean/Crunchスイッチ(3)を押すとクリーン (緑色点灯) とクランチ (赤色点灯) チャンネル間の切り替えができます。

OD-1/OD-2 スイッチ (5) を押すと、OD-1 (緑色点灯) および OD-2 (赤色点灯) チャンネル間の切り替えができます。

OD チャンネルからClean/Crunchチャンネルに切り替えるとき、切り替える直前の最後のチャンネルを記憶します。例えば、クランチチャンネルから OD チャンネルに切り替え、Clean/Crunchスイッチ (3) を押すと、アンプは、クリーンチャンネルで再び始動するのではなく、クランチチャンネルに戻ります。

## モード

プリセットとマニュアルの2つのモードがあります。モードの切り替えはDampingスイッチ(17)を2秒以上長押しします。マニュアルモード時には、Storeスイッチ (19) が赤色に点灯し、選択されているチャンネルのライト (3または5) が点滅します。

電源を落とした後も最後に使ったモードが記録され、次に電源を入れる際にも自動的に同じモードを呼び出します。

## プリセット

工場出荷時はこのモードに設定されています。

プリセットモードにはマスターボリューム(16)以外の全てのセッティングが各チャンネルに保存されています。

チャンネルを選ぶことで自動的にチャンネル内に保存されている設定になります。

**Note:** チャンネル選択時、切り替え時はデフォルト設定なので、マスター音量 (16) 以外のツマミのレベルは音に反映されていない状態です。

ツマミを回すと場合、回したツマミのパラメーターにあわせ音が変わります。

ツマミの設定が変更されると、選択されたチャンネルライト (3または5) が点滅して、現在のプリセットが変更されたことを示します。

変更した設定を保存するには、Storeスイッチ (19) を押します。

Storeスイッチ (19) を押さずに別のチャンネルを選択すると、新しいチャンネルとその設定が呼び出され、変更した設定が失われます。

## マニュアル

マニュアルモードでは、アンプは常にツマミの位置どおりに動作します。

マニュアルモード時にチャンネルを変更しても、プリセットは呼び出されません。

Storeスイッチ(19)を押すことにより選んだチャンネルにその設定を保存することができ、プリセットモード時に呼び出すことができます。

セッティングが保存されると、現在のチャンネルライト (3または5) の点滅が止まり、プリセットが保存されたことを示します。

## リバーブ、FX およびディレイ

このアンプには3 つの同時デジタル効果があります: リバーブ、ディレイ、および FX コントロール (コーラス、フェイザー、フランジャー、ヴァイブまたはオクターブのうちのいずれか 1 つを選択します。)

## リバーブ

Reverbは、2 つのリバーブタイプ (StudioまたはSpring) のいずれかに送られるリバーブのレベルを調整します。

## FX

FX コントロールは基本的に 5 つのセグメントに分割されています。単一の設定を有するオクターブの場合を除いて、FX のタイプを選択して、関連する設定を調整します。FX コントロールが「0」に設定されている場合、FX はオフになり、別売りの4wayスイッチフットコントローラー上でも確認できます。

0	FX オフ
コーラス	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、depthが減少します。
フェイザー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加します。
フランジャー	ノブを時計回りに回すと、Rateが増加し、feedback、Depthが減少します。
ヴァイブ	コントロールを時計回りに回すと、変調速度が上がります。
オクターブ	FX コントロールを完全に時計回りに回すと、Octave効果がわかり、1 オクターブ低い音が同時に鳴ります。

## ディレイ

ハイファイ忠実度の高いデジタルディレイで、各リピートは元音と同じです。

## テープ

テープエコーのクラシックなアナログ効果エミュレートし、リピート音が徐々に暖かく暗いサウンドに変化します。

## マルチ

異なる複数のタイミングでディレイ音が再生されます。

## リバーブ

その名のとおりに、逆再生音をシュミレートしたディレイ音が再生されます。

## タップテンポ

タップテンポスイッチ (13) は、ディレイのみに使用します。

2回連続して押すことでディレイの長さを調整できます。1回目と2回目の間隔で長さが調整されます。その際LEDが設定されたディレイの長さにあわせて点滅します。

ディレイタイムが減少するにつれて、反復回数が減少します。ディレイのあるチャンネルからディレイのないチャンネルに変更した場合、元チャンネルのディレイ音が残ります。

ディレイのあるチャンネルから異なるディレイ時間に設定した場合は、元チャンネルのディレイ音は残りません。

## MP3/ライン入力

3.5mmジャックのケーブルでMP3プレーヤーなどを接続します。(24)プレーヤーとアンプの音量を調整することで、お気に入りの曲やバッキングトラックと合わせて演奏できます。

## ヘッドフォンおよびライン出力

3.5mmジャックのヘッドホン接続します。この端子に接続時はスピーカーから音は出ません。

さらに、ヘッドフォン端子 (18) をライン出力端子として使用して、信号を外部機器 (例えば、コンピュータ、デジタルレコーダーまたはミキサー) に送信することもできます。ジャックがヘッドフォン端子に差し込まれると、スピーカーはミュート状態になり、「サイレントレコーディング」が可能状態になります。アンプの出力は、使用される外部機器から直接確認することができます。

## ダンピング

ダンピングスイッチ (17) で、パワーアンプの 2 つのモードを切り替えます。ダンピングがオフ (LED オフ) のとき、中低音と高音が強調されたクラシックなパワーアンプのサウンドになります。ダンピングをオンに切り替えると (LED オン) 低音および高周波数範囲の両方でスピーカーの共鳴をブーストしたモダンなサウンドになります。

## FX ループ

リアパネルのエフェクト・リターン・ジャック (25) に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの出力を接続します。エフェクト・ループはシリーズ (直列) 接続で楽器レベルに設定されているため、ギター・エフェクトまたはラック機器のいずれでも接続できます。リアパネルのエフェクト・センド・ジャック (26) に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの入力を接続します。エフェクト・ループは、フロントパネルの外部エフェクト・スイッチ (15) でオン/オフします。



## MG50FX の概要

### スピーカー

アンプに外部スピーカーキャビネットを接続する時は、必ず専用のケーブルをご使用ください。

ラウドスピーカー・ジャック (22) を使用して、内部スピーカーまたは外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。外部スピーカーキャビネットを使用する時は、合計インピーダンスを8Ω以上にしてください。

### 電源

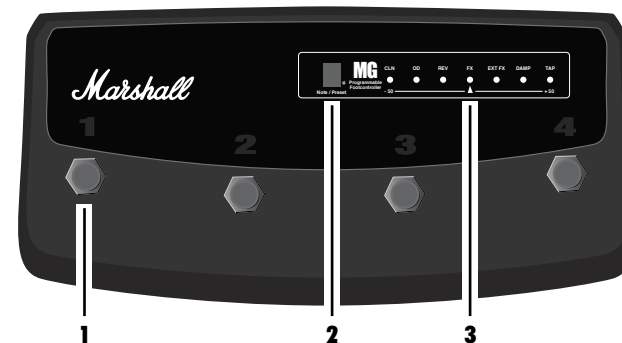
電源スイッチ (20) で、アンプのオン/オフを切り替えます。保存作業をしていない場合、設定は消去されます。

### 設定のリセット

#### 警告:アンプおよびフットコントローラーの設定がすべて消去されます。

アンプを工場出荷時の設定にリセットするには、Storeスイッチ (19) を押しながらアンプの電源を入れてください。Clean/Crunch (3) およびOD (5) のライトがオレンジ色に点灯することを確認してからStoreスイッチ (19) を放してください。アンプをリセットすると、ユーザー・チャンネル・プリセットとユーザー・フットコントローラー設定がすべて消去され、工場出荷時の設定にリセットします。

## フットコントローラー STOMPWARE PEDL-90008 (オプション)



### 1. フットスイッチ

それぞれのフットスイッチに異なる機能を割り当てられます。

### 2. デジタル・ディスプレイ

このディスプレイに、フットコントローラーのさまざまな機能を表示します。

### 3. LEDステイタス・パネル

アンプまたはチューナーの現状を表示します。  
CLN & OD: 現在のチャンネル  
REV: リバートのオン/オフ  
FX: エフェクト・セクションのオン/オフ  
EXT FX: 外部エフェクト・ループのオン/オフ (MG50FX)  
DAMP: ダンピングのモード (MG50FX)  
TAP: タップ・テンポのスピード。

### フットコントローラーの工場出荷時設定

フットスイッチ1: クリーン/クラunch

フットスイッチ2: OD-1/OD-2

フットスイッチ3: タップ・テンポ

フットスイッチ4: チューナー

### プログラミング

フットスイッチをプログラミングして、フロントパネルのスイッチ切り替え (スイッチ保存) または完全なプリセット切り替え (プリセット保存) ができます。

### スイッチ保存

フロントパネルのスイッチをフットスイッチ (1) に割り当てるには、任意のフロントパネルのスイッチを押したままにしながら、それを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。デジタル・ディスプレイ (2) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

### プリセット保存

プリセットをフットスイッチ (1) に割り当てるには、必要なチャンネルを選択し、必要に応じてフロントパネルのコントロールを調節し、フロントパネルのストア・スイッチを押さえたままにしながら、これを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。デジタル・ディスプレイ (2) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとストア・スイッチを放してください。

フットコントローラーのプリセットは、アンプの中に保存されている各チャンネル専用のプリセットから独立しています。そのため、同じチャンネル/リアンプ部に複数のプリセットをつくることができます。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (2) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「1」が点滅します。

この時点でストア・スイッチだけを押し、変更

されたチャンネルまたはフットスイッチのプリセットが上書きされます。

変更されたチャンネル・プリセットをフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつつけながら、選択したフットスイッチ (1) を押しします。

変更されたプリセットを別のフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつつけながら、選択したフットスイッチ (1) を押しします。これは通常のプリセット保存と同じ手順です。

### デジタル・ディスプレイ

フットスイッチ・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (2) にフットスイッチの番号が表示されます。チャンネル・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (2) には何も表示されません。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (2) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「1」が点滅します。

### チューナー

#### MG15FX/MG30FXの場合

フロントパネルのTapスイッチ (10) およびStoreスイッチ (12) を同時に押すか、フットスイッチにチューナーを割り当てます。注:工場出荷時の状態にリセットした場合は、初めて電源を入れた時にチューナーはすでにフットスイッチの4番に割り当てられています。

チューナーをフットスイッチに割り当てる手順は、他のスイッチの保存と同じです。Tapスイッチ (10) とStoreスイッチ (12) を同時に押さえながら、それを割り当てたいフットスイッチを押しします。デジタル・ディスプレイ (2) のU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

#### MG50FX

フロントパネルのDampingスイッチ (17) およ

びStoreスイッチ (19) を同時に押すか、フットスイッチにチューナーを割り当てます。注:工場出荷時の状態にリセットした場合は、初めて電源を入れた時にチューナーはすでにフットスイッチの4番に割り当てられています。

チューナーをフットスイッチに割り当てる手順は、他のスイッチの保存と同じです。Dampingスイッチ (17) とStoreスイッチ (19) を同時に押さえながら、それを割り当てたいフットスイッチを押しします。デジタル・ディスプレイ (2) のU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

#### MG15FX/MG30FX/MG50FX

チューナーモード選択時にはアンプはミュートされ、アンプ本体のClean/Crunch (3) およびOD-1/OD-2 (5) スイッチが黄色く点灯します。デジタル・ディスプレイ (2) に、入力信号に最も近い音程が表示されます。右下にドットが表示されている場合は半音高い(#)状態を示しています。

LEDステイタス・パネル (3) は、最も近いノートと演奏されているノートがどれくらい離れているかを表示します。中央のエフェクト・ステイタスLEDが点灯している時は、チューニングが合っていることを示しています。他のLEDは、±50セントの範囲で、チューニングが上または下であることを示します。チューナーを終了するには、いずれかのフットスイッチを押してください。アンプは、チューナーを使用する前の設定に戻ります。





[MARSHALLAMPS.COM](http://MARSHALLAMPS.COM)



Marshall Amplification Plc, Denbigh Road,  
Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.  
Telephone: +44 (0) 1908 375411 | Fax: +44 (0) 1908 376118  
Registered in England. Registered Number: 805676

---

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to its policy of constant improvement and development, Marshall Amplification Plc reserves the right to alter specifications without prior notice.

BOOK-90033-v.02